

## 地域の居住支援体制構築のための勉強会について

### 1 目的

住宅確保要配慮者が円滑に住宅に入居できるよう、住宅分野と福祉分野による連携・協同のもと地域の実情に合った居住支援体制を構築するため、居住支援に対する理解の促進を図ることを目的とする。

### 2 対象者

市町村職員（住宅部局・福祉部局）、市町村社会福祉協議会職員等

### 3 日時・場所

【第1回】令和4年12月15日（木）13:30～16:00

長野市生涯学習センター 大学習室2、3（長野市大字鶴賀問御所町1271-3）

【第2回】令和4年12月16日（金）13:30～16:00

伊那市生涯学習センター 501～503 研修室（伊那市荒井3500番地1）

【第3回】令和4年12月19日（月）13:30～16:00

松本市勤労者福祉センター 3-3 会議室（松本市中央4丁目7番26号）

### 4 内容

- ・住宅セーフティネット制度について（国土交通省講演）
- ・住宅確保要配慮者の支援事例について（長野県社会福祉協議会講演）
- ・意見交換会（グループワーク）

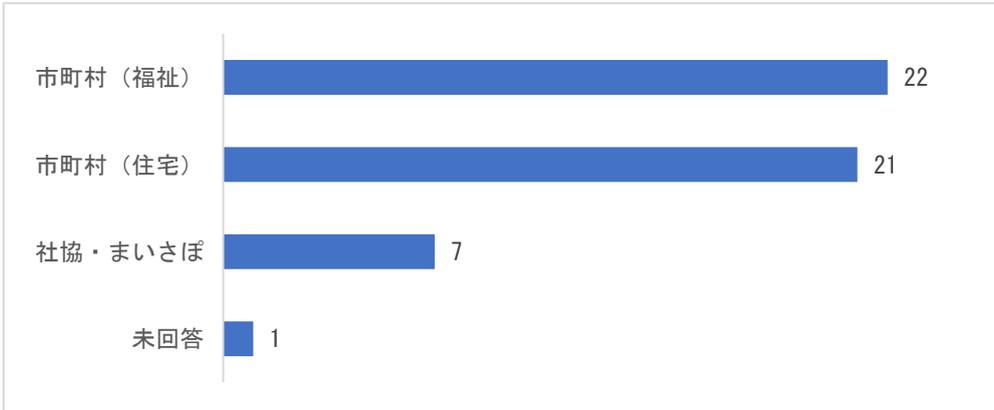
### 5 その他

国土交通省の「居住支援協議会伴走支援プロジェクト」の支援により開催する。



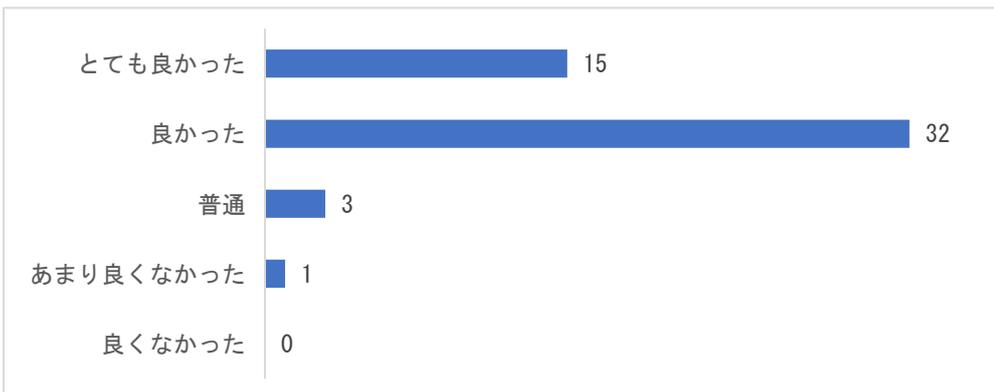
「地域の居住支援体制構築のための勉強会」受講後アンケート集計結果

【回答者所属】



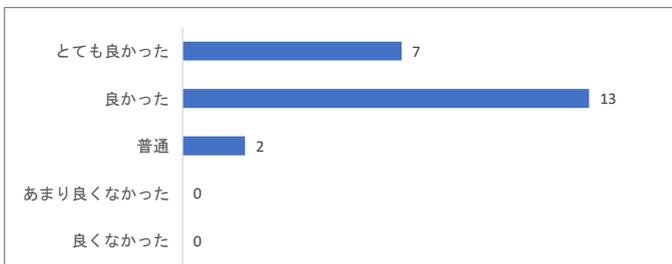
Q1：今回の勉強会はいかがでしたか。

○全体

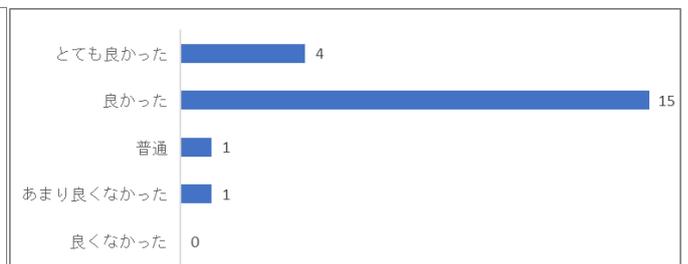


○所属別

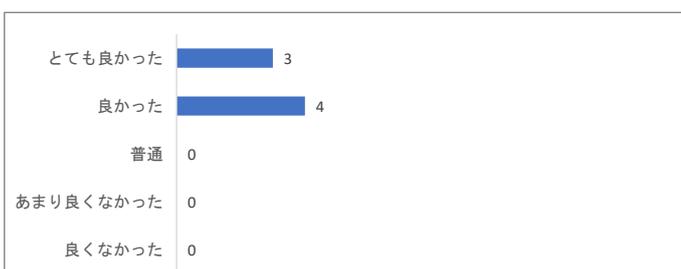
1) 市町村（福祉）



2) 市町村（住宅）

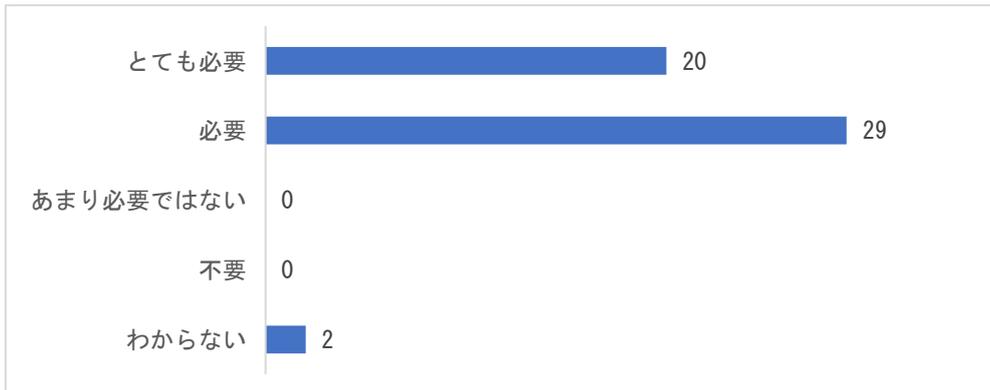


3) 社協・まいさぼ



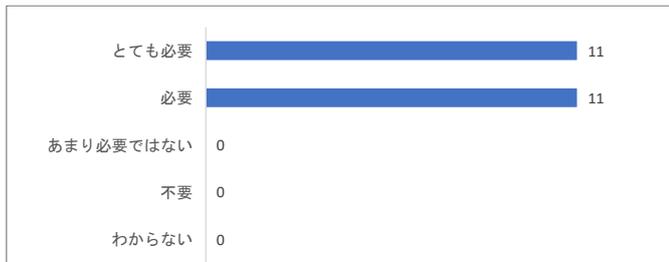
Q2：今回の勉強会を受講して、居住支援の必要性についてどのように感じましたか。

○全体

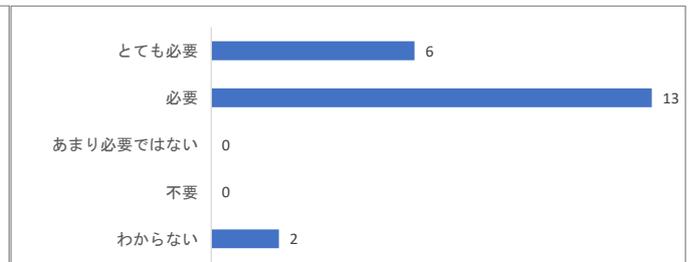


○所属別

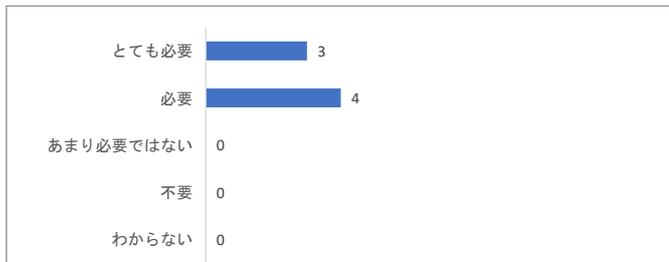
1) 市町村（福祉）



2) 市町村（住宅）

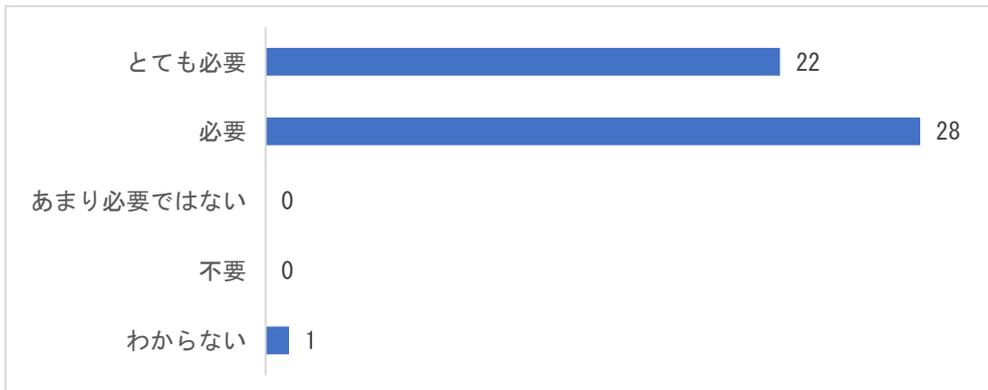


3) 社協・まいさぼ



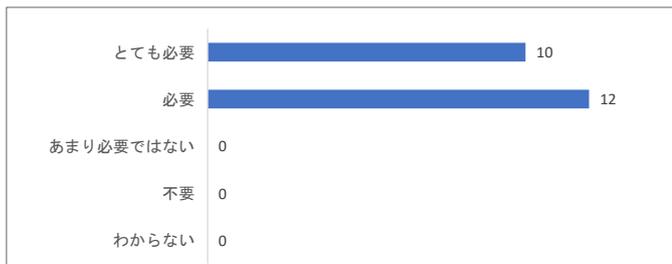
Q3：住宅確保要配慮者の支援に行政（住宅・福祉部局等）と民間（不動産・福祉団体等）が連携して取り組むことは必要だと思いますか。

○全体

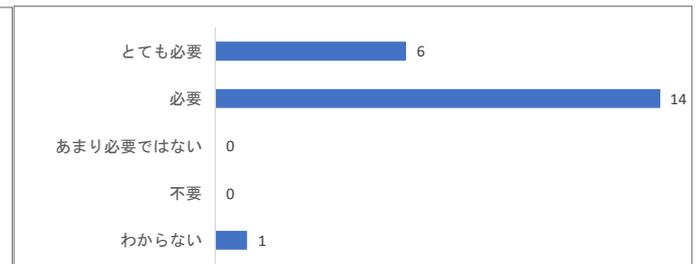


○所属別

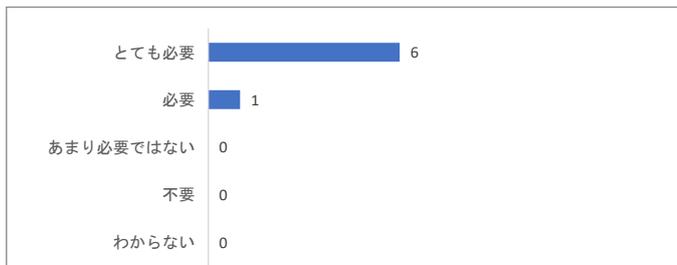
1) 市町村（福祉）



2) 市町村（住宅）

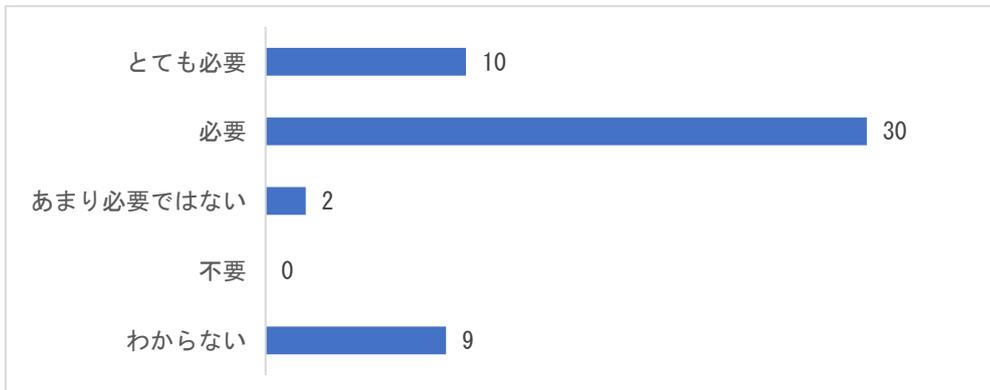


3) 社協・まいさぽ



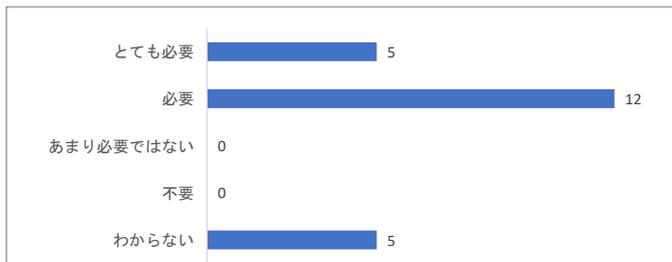
Q4：市町村（または広域地域）単位で、居住支援協議会のような住まいに関する会議体が必要だと思いますか。

○全体

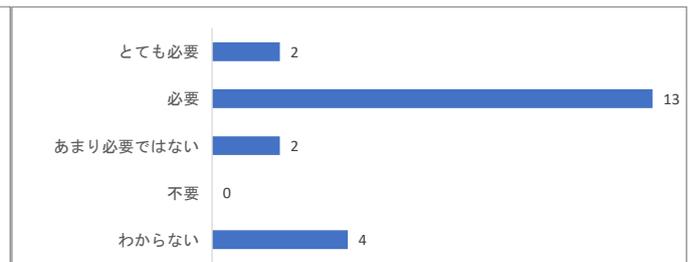


○所属別

1) 市町村（福祉）



2) 市町村（住宅）



3) 社協・まいさぼ

